

1 性、LGBTとは

性は心の性と身体(からだ)の性に分かれる

身体(からだ)の性 → 生物学的性(Sex)

心の性 → 社会的な性(Gender)

LGBT

恋愛や性的な関心の対象がどの性別に向かうかを示す概念

- L ... レズビアン(女性同性愛者)
- G ... ゲイ(男性同性愛者)
- B ... バイセクシャル(両性愛者)
- T ... トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しないケース)

LGBT層に該当する人は8.9%

(電通ダイバーシティラボが2018年10月に全国20~59歳の個人六万人を対象に調査した結果)

2 国の動き

■戸籍の性別の変更が可能に

(平成15年7月16日法律第111号)第三条

性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律

■平成27年文部科学省は全国の教育委員会に対し、LGBTの児童生徒への保護策を提言

「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について」

(平成27年4月30日27文科初児生第3号)

3 県の動き

■県の取り組み

○人権啓発講演会の開催

全県を対象とした人権啓発講演会においてLGBTを主題とした講演を開催

令和元年8月21日(水) (講師)東小雪(こゆき)氏

(LGBTアクティビストであり、元タカラジェンヌ)渋谷区同性パートナーシップ証明書1例目 ※現在は解消

・過去の事業

平成27年12月16日(水) (講師)杉山 文野氏(フェンシング元日本代表)

○やまなし人権啓発出前講座・講師派遣事業の実施

テーマ:「LGBT」

峡南高校 令和元年10月16日(水) 全校生徒対象 特定非営利活動法人ReBit(リビット)に講師依頼

※台風19号の影響で交通網が寸断されたため中止となった。

○県政モニターアンケート調査

広聴広報課で実施している県政モニターアンケート調査で、LGBTに関する調査を7月に実施

○LGBTに関する行政職員向け研修会を開催

令和元年12月17日(火) (講師)東小雪(こゆき)氏 テーマ:「LGBTも働きやすい職場をめざして」

■県教育委員会の取り組み

- ・来春の公立高校入試で、入学願書などの出願資料の性別欄廃止
- ・今年度、県立高校5校が女子生徒の制服でスカートとスラックスを選択できるように配慮。R2年度は10校に増加する見込み。
- ・5月に教員を対象とした、LGBTの現状を知り、理解を深め、適切な配慮は支援のあり方を学ぶための研修を総合教育センターで実施した。

4 学校現場の声(LGBT)

○県内の全高校(公私)、支援学校の生徒指導主事に対し、LGBTにかかる緊急アンケートを実施

(令和元年11月15-22日 県教委総務課、高校教育課共同) 主な意見

「LGBTについての知識や教員の対応時の注意点など、研修会を計画して欲しい」

「教員の意識改革が一番重要」

「対応を各学校任せにせず、この問題を県としてどうすべきか統一すべきでは」

「申し出があったとき、制服をどうすべきか悩んでいる」

「申し出があった場合に、何をすれば良いのか、何をしてあげられるのか、難題です」

「各校の取り組み(制服、トイレ、修学旅行)事例を情報共有したい」

「性的に違和感を持つ女子生徒が、学校ではあくまでも女性として扱われることに不満を持ち退学をした」

「髪型について、標準より長い髪型を認めている」

「職員トイレの使用を認めている」

「生徒や保護者が相談できる体制作りを望む」

「LGBTへの配慮として女子生徒の制服にスラックスを導入したというイメージ報道により、女子生徒のスラックス=LGBTと決めつけられてしまうことへの危惧」

「ユニバーサルトイレや個別に利用できる更衣室の整備が必要」

「本人の精神的なプレッシャーにより、結果的に転校した」

5 LGBT以外の性にかかる問題

・望まない妊娠、中絶となるケース

・子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)への対応

